

## 指導担当者の方へ

介入開始前に記入してください

感覚器障害（聴覚）戦略研究事務局

感覚器障害（聴覚）戦略研究・介入研究にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
指導を始める前に、現時点での状況について以下の質問にご回答をお願いいたします。

今日の日付：平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

研究対象者ID：\_\_\_\_\_

施設名：\_\_\_\_\_

記載者氏名：\_\_\_\_\_

聴覚障害児の言語指導経験年数： \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_ヶ月

研究対象者のコミュニケーション状況について、客観的にご回答ください。

<u>1. 全体を通して</u>	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
相手の目を見ている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話の内容により表情を変化させている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の表情や感情を理解して正しく反応する	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の身振り・ジェスチャーを理解している	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
年齢相応の行動をしている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手との適切な距離を保っている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
会話の妨げになる物音を立てないようにすることが とができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

<u>2. 表現力について</u>	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
口ごもらず、はっきりと話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要に応じて声の大きさや高さを変えて話す	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の視点に立って考えたり話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題から逸れないように話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
「皮肉」や「イヤミ」を理解できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
「たとえ」を理解でき、また使用できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
意見対立があっても議論を続けることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自分のことを質問された時、「わからない」「知 らない」でなく、正しく返答できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

**3. 会話について**

	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
その場にふさわしい話題を選ぶことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自分から話題を提示し話を進めることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題に関連する情報を簡潔に提示できる					
話題を維持することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
適切に話題を変えることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手によって、話し方を変えることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
一方的に話をする事なく、交代しながら会話をすすめることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手が理解しているか、注目しているか、などに注意を払いながら話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要な時には、適切に会話を遮ることができる					
指名されるまで発言を待つことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話がわからない時には、適切に質問できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題が転換しても、柔軟に対応できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
適切に自己紹介ができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
冗談を交えて会話することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
会話に加わることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
一方的ではない話し方ができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要な時には助けを求めることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自身の感情を認識し、表現することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
哀れみや同情を示すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
ルールを理解することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

----- アンケートは以上で終了です。お疲れさまでした。 -----

すべての項目に回答出来ているかどうかをご確認のうえ、下記までお送りください。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1  
岡山大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科内  
感覚器障害戦略研究（聴覚）事務局  
電話・FAX 086-239-2388

## 指導担当者の方へ

介入終了後（6ヶ月経過後）に  
記入してください

感覚器障害（聴覚）戦略研究事務局

指導にご尽力いただき、ありがとうございました。

指導を終えた時点での状況について、以下にご回答をお願いいたします。

今日の日付：平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

研究対象者ID：\_\_\_\_\_

記載者氏名：\_\_\_\_\_

施設名：\_\_\_\_\_

研究対象者のコミュニケーション状況について、客観的にご回答ください。

<u>1. 全体を通して</u>	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
相手の目を見ている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話の内容により表情を変化させている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の表情や感情を理解して正しく反応する	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の身振り・ジェスチャーを理解している	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
年齢相応の行動をしている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手との適切な距離を保っている	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
会話の妨げになる物音を立てないようにすることが とができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

<u>2. 表現力について</u>	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
口ごもらず、はっきりと話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要に応じて声の大きさや高さを変えて話す	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手の視点に立って考えたり話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題から逸れないように話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
「皮肉」や「イヤミ」を理解できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
「たとえ」を理解でき、また使用できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
意見対立があっても議論を続けることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自分のことを質問された時、「わからない」「知 らない」でなく、正しく返答できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

**3. 会話について**

	いつも	たいてい	半分程度	あまりない	全くない
その場にふさわしい話題を選ぶことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自分から話題を提示し話を進めることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題に関連する情報を簡潔に提示できる					
話題を維持することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
適切に話題を変えることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手によって、話し方を変えることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
一方的に話をする事なく、交代しながら会話をすすめることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
相手が理解しているか、注目しているか、などに注意を払いながら話すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要な時には、適切に会話を遮ることができる					
指名されるまで発言を待つことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話がわからない時には、適切に質問できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
話題が転換しても、柔軟に対応できる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
適切に自己紹介ができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
冗談を交えて会話することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
会話に加わることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
一方的ではない話し方ができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
必要な時には助けを求めることができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
自身の感情を認識し、表現することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
哀れみや同情を示すことができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】
ルールを理解することができる	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】

**4. 訓練担当者としての印象**

	まさに その通り	だいたい その通り	どちらとも 言えない	そうでも ない	全く 違う
積極的に訓練に参加してくれた	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
自宅での課題を良く頑張った	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
担当者とうち解けて訓練ができた	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
積極的に発言できていた	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
わからないことはすぐに質問できていた	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】

**5. 訓練に対する感想**

	まさに その通り	だいたい その通り	どちらとも 言えない	そうでも ない	全く 違う
訓練効果は良好	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
自宅や学校でも訓練効果が出ているようだ	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
汎化しそう	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
引き続き同じ訓練が必要	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
他の訓練方法を試す必要がある	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
訓練方法の理解が大変だった	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
訓練の準備が大変だった	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】
訓練頻度は多かった	【    】	【    】	【    】	【    】	【    】

----- アンケートは以上で終了です。お疲れさまでした。 -----

すべての項目に回答出来ているかどうかをご確認のうえ、下記までお送りください。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1  
岡山大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科内  
感覚器障害戦略研究（聴覚）事務局  
電話・FAX 086-239-2388



# 感覚器障害戦略研究（聴覚）介入研究 検査結果記入用紙

介入前評価用

本研究用 ID： \_\_\_\_\_

生年月日：平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

検査実施時期：平成23年 \_\_\_\_\_ 月頃 または \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月頃

検査実施者氏名： \_\_\_\_\_ 施設名： \_\_\_\_\_

検査実施時のコミュニケーション手段（○を付けてください）

\* 検者の指示・提示

主として使用 (1つのみ)	音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字
併用 (複数選択可)	なし 文字・音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・ キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字

\* 被験者（=研究対象児）の回答・応答

主として使用 (1つのみ)	音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字
併用 (複数選択可)	なし 文字・音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・ キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字

補聴手段： 補聴器のみ ・ 補聴器+人工内耳 ・ 人工内耳のみ ・ なし

対象児の教育状況（当てはまるものに○を付けてください）

○	内 容
○	普通小学校（メインストリーム）に在籍
○	特別支援学校（小学部）に在籍
○	学習塾や家庭教師等による学習
○	その他（ _____ ）

I. **質問—応答関係検査**

未施行 検査完了できず

総得点	I. 日常的質問	II. なぞなぞ	III. 仮定	IV. 類概念
/303	/34	/20	/24	/30

V. 語義説明	VI. 理由	VII. 説明	VIII. 系列絵	IX. 物語の説明	X. 文章の聴理解
/24	/20	/27	/16	/30	/78

※以下に該当する場合は、チェックしてください。

- 「ももたろう」を知らない
- 「トンネルの作り方」を知らない

II. **語流暢性検査 WFT**

未施行 検査完了できず

課題	正答数
あ	
か	
し	

課題	正答数
動物	
スポーツ	
職業	

III. **絵画語彙検査 PVT-R**

未施行 検査完了できず

修正得点	
生活年齢	歳 月
語彙年齢 (VA)	歳 月
評価点 (SS)	

特別な提示の有無（○を付ける）：

なし ・ あり → 手話・文字・指文字・キュー

IV. **標準抽象語理解力検査 SCTAW**

未施行 検査完了できず

（文字による提示にて実施してください）

正答数		/32
誤反応	意味的	%
	音的	%
	無関連	%
無反応		%

誤反応・無反応の%は、  
 (32-正答数)を分母  
 として計算します。

所要時間： \_\_\_\_分・未計測

特別な提示の有無（○を付ける）：  
 なし ・ あり → 手話・指文字・キュー

V. **失語症構文検査 STA**

① 理解

未施行 検査完了できず

種別	聴覚的理解 ・ 読解
----	------------

←

いずれかに○をつける

（以下に記入するか、または記録用紙8ページのコピーを添付してください）

レベル	ストラテジー	項目番号 (正答した項目に○)				正答数
I	語の 意味	1	2	3	4	/8
		5	6	7	8	
II	語順	9	11	14	16	/8
		10	12	13	15	
III	助詞 補文(-)	20	22	25	31	/8
		18	24	27	29	
IV	助詞 補文(+)	19	21	26	30	/8
		17	23	28	32	
関係節	語順	33	35	37	39	/8
		34	36	38	40	

② 産生

未施行    検査完了できず

（以下に記入するか、または記録用紙9ページのコピーを添付してください）

レベル	No.	項目	得点				
			0	1	2	3	4
I	1	走る					
	3	泣く					
	2	食べる					
II	4	乗る					
	5	あげる					
	7	追いかける					
III	6	もらう					
	8	追いかけられる					
	9	降ろす					
IV	10	取る					
	11	取られる					
	12	洗わせる					
V	13	洗わせられる					
	14	拾ってあげる					
	15	拾ってもらう					
得点別総項目数							
総得点（            ）			正答総項目数：3点以上（            ）				

VI. **日本語文法理解テスト J.COSS**

（第一部：語彙の理解は省略）

第二部：文の理解

未施行

検査完了できず

（以下に記入するか、または解答用紙のコピーを添付してください。）

項目	問題	正誤	通過判定
1	1		第1水準
	2		
	3		
	4		
2	5		P / F
	6		
	7		
3	8		P / F
	9		
	10		
	11		
	12		
4	13		第2水準
	14		
	15		
	16		
5	17		P / F
	18		
	19		
	20		
6	21		P / F
	22		
	23		
	24		
7	25		第3水準
	26		
	27		
	28		
8	29		P / F
	30		
	31		
	32		
9	33		第4水準
	34		
	35		
	36		
10	37		P / F
	38		
	39		
	40		
11	41		P / F
	42		
	43		
	44		

項目	問題	正誤	通過判定
12	45		第5水準
	46		
	47		
	48		
13	49		P / F
	50		
	51		
14	52		P / F
	53		
	54		
	55		
	56		
15	57		P / F
	58		
	59		
	60		
16	61		P / F
	62		
	63		
	64		
17	65		P / F
	66		
	67		
	68		
18	69		第6水準
	70		
	71		
	72		
19	73		P / F
	74		
	75		
	76		
20	77		第7水準
	78		
	79		
	80		

実施方法（いずれかに○）：

聴覚版 ・ 視覚版

コメント欄

ご協力いただき誠にありがとうございました。以下を必ずご確認ください。

- ・本研究用のIDが記入または貼付されている
- ・対象者の氏名などが記載されていない
- ・STA,やJ.COSS の検査結果を記入していない場合は、コピーが添付されている  
（本紙にホッチキス固定または糊付けしてください）

本紙は感覚器障害（聴覚）戦略研究事務局・データマネジメントセンターまで送付をお願いいたします。

感覚器障害戦略研究（聴覚）介入研究  
**検査結果記入用紙**

介入後評価用

本研究用 ID： \_\_\_\_\_

生年月日：平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

検査実施時期：平成23年 \_\_\_\_\_ 月頃 または \_\_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_\_ ヶ月頃

検査実施者氏名： \_\_\_\_\_ 施設名： \_\_\_\_\_

検査実施時のコミュニケーション手段（○を付けてください）

\* 検者の指示・提示

主として使用 (1つのみ)	音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・キュードスピーチ・ 指文字・ジェスチャー・指点字
併用 (複数選択可)	なし 文字・音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・ キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字

\* 被験者（=研究対象児）の回答・応答

主として使用 (1つのみ)	音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・キュードスピーチ・ 指文字・ジェスチャー・指点字
併用 (複数選択可)	なし 文字・音声（聴覚）・読唇（口話）・手話・ キュードスピーチ・指文字・ジェスチャー・指点字

補聴手段： 補聴器のみ ・ 補聴器+人工内耳 ・ 人工内耳のみ ・ なし

対象児の教育状況（当てはまるものに○を付けてください）

○	内 容	
	普通小学校（メインストリーム）に在籍	現在 _____ 年生
	特別支援学校（小学部）に在籍	
	学習塾や家庭教師等による学習	頻度： 週 _____ 回
	その他（ _____ ）	

I. **質問—応答関係検査**

未施行 検査完了できず

総得点	I. 日常的質問	II. なぞなぞ	III. 仮定	IV. 類概念
/303	/34	/20	/24	/30

V. 語義説明	VI. 理由	VII. 説明	VIII. 系列絵	IX. 物語の説明	X. 文章の聴理解
/24	/20	/27	/16	/30	/78

※以下に該当する場合は、チェックしてください。

- 「ももたろう」を知らない
- 「トンネルの作り方」を知らない

II. **語流暢性検査 WFT**

未施行 検査完了できず

課題	正答数
あ	
か	
し	

課題	正答数
動物	
スポーツ	
職業	

III. **絵画語彙検査 PVT-R**

未施行 検査完了できず

修正得点	
生活年齢	歳 月
語彙年齢 (VA)	歳 月
評価点 (SS)	

特別な提示の有無（○を付ける）：

なし ・ あり → 手話・文字・指文字・キュー



IV. **標準抽象語理解力検査 SCTAW**

未施行 検査完了できず

（文字による提示にて実施してください）

正答数		/32
誤反応	意味的	%
	音的	%
	無関連	%
無反応		%

誤反応・無反応の%は、  
 (32-正答数)を分母  
 として計算します。

所要時間： \_\_\_\_分・未計測

特別な提示の有無（○を付ける）：  
 なし ・ あり → 手話・指文字・キュー

V. **失語症構文検査 STA**

① 理解

未施行 検査完了できず

種別	聴覚的理解 ・ 読解
----	------------

←

いずれかに○をつける

（以下に記入するか、または記録用紙8ページのコピーを添付してください）

レベル	ストラテジー	項目番号 (正答した項目に○)				正答数
I	語の 意味	1	2	3	4	/8
		5	6	7	8	
II	語順	9	11	14	16	/8
		10	12	13	15	
III	助詞 補文(-)	20	22	25	31	/8
		18	24	27	29	
IV	助詞 補文(+)	19	21	26	30	/8
		17	23	28	32	
関係節	語順	33	35	37	39	/8
		34	36	38	40	

② 産生

未施行    検査完了できず

（以下に記入するか、または記録用紙9ページのコピーを添付してください）

レベル	No.	項目	得点				
			0	1	2	3	4
I	1	走る					
	3	泣く					
	2	食べる					
II	4	乗る					
	5	あげる					
	7	追いかける					
III	6	もらう					
	8	追いかけられる					
	9	降ろす					
IV	10	取る					
	11	取られる					
	12	洗わせる					
V	13	洗わせられる					
	14	拾ってあげる					
	15	拾ってもらう					
得点別総項目数							
総得点（            ）			正答総項目数：3点以上（            ）				

VI. **日本語文法理解テスト J.COSS**

（第一部：語彙の理解は省略）

第二部：文の理解

未施行

検査完了できず

（以下に記入するか、または解答用紙のコピーを添付してください。）

項目	問題	正誤	通過判定
1	1		第1水準 P / F
	2		
	3		
	4		
2	5		P / F
	6		
	7		
3	8		P / F
	9		
	10		
	11		
	12		
4	13		第2水準 P / F
	14		
	15		
	16		
5	17		P / F
	18		
	19		
	20		
6	21		P / F
	22		
	23		
	24		
7	25		第3水準 P / F
	26		
	27		
8	28		P / F
	29		
	30		
	31		
	32		
9	33		第4水準 P / F
	34		
	35		
	36		
10	37		P / F
	38		
	39		
	40		
11	41		P / F
	42		
	43		
	44		

項目	問題	正誤	通過判定
12	45		第5水準 P / F
	46		
	47		
	48		
13	49		P / F
	50		
	51		
14	52		P / F
	53		
	54		
	55		
15	56		P / F
	57		
	58		
	59		
16	60		P / F
	61		
	62		
	63		
17	64		P / F
	65		
	66		
	67		
	68		
18	69		第6水準 P / F
	70		
	71		
	72		
19	73		P / F
	74		
	75		
	76		
20	77		第7水準 P / F
	78		
	79		
	80		

実施方法（いずれかに○）：

聴覚版 ・ 視覚版

コメント欄

ご協力いただき誠にありがとうございました。以下を必ずご確認ください。

- ・本研究用のIDが記入または貼付されている
- ・対象者の氏名などが記載されていない
- ・STA,や J.COSS の検査結果を記入していない場合は、コピーが添付されている  
（本紙にホッチキス固定または糊付けしてください）

本紙は感覚器障害（聴覚）戦略研究事務局・データマネジメントセンターまで送付をお願いいたします。